

令和4年度 第2回太田市公共事業入札等監視委員会 委員コメント

○小川委員長

今回は、令和4年の上半期の入札契約状況の報告と審査、および、地域要件を拡大した案件（3件）についての内容審査を行いました。

専門性のある工事や過去の実績を前提とした発注について、市内業者優先施策と応札可能性との間で難しい判断をされている状況がよくわかりました。

引き続き、公平性と競争性を確保しながら、適切な入札業務を推進していただきたいと思います。

○大谷副委員長

令和4年度の状況の報告を受けました。大型の工事案件は一段落しているようでした。内容審査では、地域経済の循環という観点から業者選定においてはしっかりと透明性が確保されていると感じました。

また、価格以外の要素として、入札参加資格要件に工事实績を付すことや総合数値を設定するなどにより、適切な請負業者を決定しているものと説明を丁寧にしていただきました。業者の規模や能力を必要とする工事の案件については、適切な業者を決定する上で、公平な判断をされているものと思いました。

○大島委員

今回の委員会においては、令和4年度（上半期）の入札・契約状況、並びに入札業者の地域要件を拡大した案件について説明、報告を受けました。地域要件拡大案件は3件、内2件は市内業者が落札、結果的には良かったと思われませんが、予想とは違う結果になったことは地域要件を拡大する案件を選択する難しさを感じました。

また、担当される方々が一つ一つの案件をしっかりと検討していることを再認識致しました。

○湯澤委員

令和4年度 上半期入札・契約状況等並びに、内容審査について説明・報告を受け、適正であると思いました。

その中で、市内業者の入札が多く見受けられ、喜ばしい事であり、改めて技術力並びに設計力等が高いことが理解できました。引き続き、公正公平な入札執行を期待しています。

なお、会議後に建設中の「（仮称）太田市運動公園市民体育館建設工事」を視察させていただきました。

人材不足・資材調達困難等の中、順調に工事が進められているように感じ、完成が待ち遠しく感じました。

○中村委員

令和4年度上半期の入札・契約状況についての説明を受けました。

上半期における競争入札は、1億円以上の特殊な工事が前年より多かったことがわかりました。太田市清掃センターの解体工事など汚染物質の除染などをはじめ、難易度が高い工事は入札に地域要件拡大も必要です。

公平性を保つためにも、条件拡大も視野に引き続き案件ごとの協議をお願いしたいと思います。建設中のアリーナの現地視察では、貴重な経験をさせていただきました。前年度の入札案件がカタチになるのを目の当たりにし、この監視委員会の存在意義を再確認いたしました。完成が楽しみです。